



台東区観光振興計画 躍進台東 2020年に向けて 策定にあたって

台東区は、江戸の歴史を感じられる伝統をはじめ、豊富な芸術文化資源、大衆芸能や四季の風物ともなる祭り、日々の暮らしに根ざした下町の生活文化などの多彩な魅力により、年間4,500万人以上の観光客を惹きつけています。

本年7月、国立西洋美術館の世界遺産登録の可否が決定されます。さらに、2020年には、世界中が注目するスポーツ・文化の祭典である東京オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されることなどから、今後、より一層の観光客の増加が予想されます。これらは、台東区が日本のショーウインドウとなり、本区の魅力を世界に発信し、大きく飛躍する千載一遇のチャンスです。

私は、「躍進台東 新しい台東区」の実現のため、このチャンスを捉えた積極的な観光振興を通じて、地域経済を活性化し、区民生活を向上させることが大変重要であると考えています。

このたび、「本物に会えるまち」を目標とする姿として、2020年に向けて取り組む方向性と視点を明らかにした、台東区観光振興計画を策定いたしました。

本計画では、国内外からの観光客の受入環境の整備やおもてなしの向上、多彩な文化資源の魅力の発信など、2020年東京大会に向けて、区が一丸となって優先的に実施する施策を重点プランとして位置付けました。また、観光の「質」を向上することで、すべての観光客が満足し、区民が愛着や誇りを持てる観光地の実現を目指してまいります。

地域の皆様と一体となって、台東区の観光振興に全力で取り組んでまいりますので、これまで以上のご理解、ご協力をお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたりまして、議論を重ねていただきました有識者や関係団体の皆様、貴重なご意見をお寄せいただきました区民や観光客の皆様に、心から御礼申し上げます。

平成28年3月

台東区長 服部 征夫